

# まくらざきの話題



## 人は言葉で生まれ変わる

～市PTA活動研究委嘱公開でDJボッキーさんが講演

■市PTA活動研究委嘱公開が2月5日、枕崎小学校の体育館で行われ、FM鹿児島でラジオパーソナリティーを務めるDJボッキーさんが『言葉が人生を変える』という演題で講演しました。

DJボッキーさんは「言葉に出すことが大事、人は言葉で生まれ変われる」と話すと、ラジオでよく使うという魔法の言葉「押し出せ！押し出せ！ネガティブ押し出せ」を会場の全員で発声するなど、言葉の持つ力の素晴らしさを訴えていました。



## 活用して！一人暮らしの料理本

～枕崎高校3年生に一人暮らしの料理本を贈呈

■(財)日本食生活協会が制作した一人暮らしの料理本『ひとりでも！クリッキング』の贈呈式が2月24日、枕崎高校であり、卒業前の同校3年生の全生徒に、市食生活改善推進員連絡協議会から贈呈されました。同会の新屋敷咲子副会長(写真右)は「親元を離れた生活の中で、簡単な料理から始めてほしい」と話していました。

## 甘~いタンカン たわわに実る ～たんかんはさみ入れ式

■たんかんはさみ入れ式が2月8日、田布川町の上園親志さんのハウス農園で行われ、生産農家やJA関係者などが出席しました。

今年は金山小学校の3・4年生の10人が参加。式典後の収穫体験では、ハウスの中でたわわに実ったタンカンを丁寧に摘み取っていました。

今年のタンカンもとても甘くておいしいそうです。ぜひ旬の味を堪能してみてください。



## 豊かな森林を守り育てよう ～第3回南薩地区植樹祭

■第3回南薩地区植樹祭が1月29日、塩浜運動公園一帯で行われ、行政や林業関係者、植樹祭テーマコンクールに入選した児童生徒などが出席しました。

総合体育館での式典終了後に行われた市営野球場での植樹会では、クロガネモチやツツジなど計167本の植樹を行いました。



We LOVE MAKURAZAKI

◎投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。  
総務課秘書広報係 E-mail: hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp

## 生産者とのふれあいで地産地消を学ぶ ～桜山小学校で野菜生産者との交流授業・給食

■桜山小学校の児童と学校給食の野菜生産者との交流授業・給食が1月25日、同校の5年生のクラスで行われました。授業には、桜山地区の野菜生産者4名が出席。生産者の一人である山口マチ子さんは「食べててくれるみなさんには会えて嬉しい」とあいさつし、安全安心な野菜を食べてもらあうと丹精込めて作っていることなどを話しました。児童からは「給食にはいっぱい愛情が込められているとわかった。残さず食べたい」という感想が聞かれました。

交流給食では、枕崎産さばのカレーフライや、野菜がたっぷり入ったみそ汁など、まるごと枕崎産の給食と一緒に楽しく食べていました。



## 男女共同参画社会を目指して ～まくらざきハーモニーフェスティバル

■男女共同参画社会の実現を目指し、市の主催でまくらざきハーモニーネットワーク委員会が共催するハーモニーフェスティバルが2月6日、南薩地域地場産業振興センターで行われました。はじめ、市男女共同参画推進懇話会委員が男女共同参画をテーマにコミカルな寸劇を披露。会場いっぱいに詰めかけた参加者を沸かせていきました。

講演では、九州初の女性町長として活躍し、現在、福岡県男女共同参画センター『あさばる』の地域活動推進者である中嶋玲子さんが『一人ひとりが輝く枕崎市を目指して～世代をこえて性別をこえて』という演題で熱弁。参加者は、男女共同参画について深く学んでいました。



## 懐かしの枕崎駅舎が絵ハガキに

～観光ボランティアガイドが絵ハガキを制作・販売

■平成18年に取り組みされた懐かしの枕崎駅舎が絵ハガキになりました。この制作・販売をしているのは枕崎観光ボランティアガイドのみなさんです。絵は、千葉県在住で母が枕崎出身という花牟礼祐一さんに依頼。昭和60年頃の枕崎駅舎周辺を描いています。

観光ボランティアガイドの北川忠武さん(写真左)は「長年枕崎を見守ってきた駅舎を、思い出として偲んでもらえたらと思い制作した。お土産として暑中見舞いなどに使ってほしい」と話していました。

3月下旬には、絵ハガキ第2弾として、中釜幹敬さん(泉町)が描いた立石岩の水墨画を販売する予定です。絵ハガキは1枚100円で駅前観光案内所などで販売しています。



## 川辺チーム 大健闘の総合3位

～第58回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

■毎年恒例の県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月19日から23日まで、県内全域を舞台に行われました。

初日は本市を通過。第8中継所の市役所前(写真右)に川辺チームのランナーが1位で入ってくると、応援に駆けつけた多くの市民から大きな歓声が上がっていました。

本市関係選手では、田畠庸祐選手(鹿児島国際大4年・写真左)と前田高志選手(別府中学校職員)が、それぞれ3回の出走すべてで上位に食い込み、川辺チームの総合3位に貢献しました。